

会 議 録	
会議の名称	平成24年度第2回清須市行政改革推進委員会
開催日時	平成25年3月28日（木） 午前10時から午後0時2分まで
開催場所	清須市役所本庁舎3階 大会議室
議題	1 開会 2 議事 （1）行政評価における外部評価の実施について （2）第3回清須市市民満足度調査報告書について 3 閉会
会議資料	会議次第 配席図 委員名簿 資料1：本市の行政評価制度について 資料2：外部評価の試行について 資料3：外部評価（試行）の実施結果について 資料4：外部評価の導入について 資料5：平成24年度清須市施策・事業評価シート （対象：平成23年度実施） 資料6：外部評価報告書 資料7：第3回清須市市民満足度調査報告書
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数（公開した場合）	0人
出席委員	福田委員、小出委員、近藤委員、佐野委員、建部委員、 堤委員、原田委員、牧野委員、山田委員
欠席委員	高山委員、前田委員、山口委員
出席者（市）	柴田企画部長
事務局	（企画政策課） 葛谷企画部次長兼企画政策課長、加納副主幹、鹿島係長、 岡田主査、小出主査
会議録署名委員	近藤委員、建部委員
1 開会 ●葛谷次長 皆様、おはようございます。 ただ今から、平成24年度第2回清須市行政改革推進委員会を開催させていただ	

きます。皆様方には、大変お忙しい中、誠にありがとうございます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

最初に、事務局から出欠の状況を報告させていただきます。本日は、高山委員、前田委員、山口委員が欠席でございます。

これより議事進行は、福田会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

## 2 議事

### ●福田会長

おはようございます。

早速始めさせていただきたいと思います。年度末で皆様方お忙しい中、お集まりいただき、恐縮いたしております。

本日の会議録の署名の方を恐縮でございますが、近藤委員と建部委員に会議録の署名者としてご承知をいただきたいと思います。

それでは、貴重な時間でございますので、早速始めさせていただきたいと思えます。2つの議題がございます。

1つは、「行政評価における外部評価の実施について」でございます。事務局から説明を聞かせていただいて、委員の方のご審議を承りたいと思えます。よろしくお願いいたします。

事務局から、説明をお願いしたいと思います。

○事務局より、議事（1）行政評価における外部評価の実施についての説明

○牧野委員より、資料6の外部評価報告書について、外部評価シートがどのようなものか、評価のポイントなどを説明

### ●福田会長

ただ今、事務局及び外部評価委員を務められた牧野委員より説明がありました。

私の感じるところでは、事業評価シートを見てもなかなか理解ができない部分もありましたので、市民が読んで分かる施策・事業評価シートにさせていただきたいと思えます。

また、今後の進め方が問題であると思えます。

委員の皆さままでご意見のある方は、いらっしゃいますか。

佐野委員、どうぞ。

### ●佐野委員

佐野でございます、何点かお伺いさせていただきます。

ただ今説明のありました、外部評価の対象事業を各部局1つ選ぶということす

が、この選ばれた基準といいますか、視点というのはどういう視点で選ばれているのでしょうか。

●鹿島係長

予算の主要施策の概要に掲載している事業で、かつ予算額1,000万円以上の事業を選定し、各部から3事業としました。最終的に各部と相談しながらそれぞれ1事業を選定したところです。

●佐野委員

なぜこの質問をしたかといいますと、先程、外部評価対象事業として企画政策課からコミュニティバス事業が出されておりました。

実は、コミュニティバスには附属機関があります。

地域公共交通会議が、何十時間と行われております。ここには、学識者として名古屋大学の加藤先生、国のそういう会議にも出ておられる方です。国土交通省運輸局の担当者、県の担当者、尾張建設事務所、西枇杷島警察、バス協会、つばめ自動車、それから公募で選ばれた2人の利用者や市民委員が7人、そこで様々な議論をされて、市民の声も入れてPDCAも行いながら検討してきているこの附属機関も外部評価の対象となっています。

先程、牧野委員が説明をされましたが、ここに至るまでの何十時間の議論がある会議の内容について、この行政改革委員が評価をした内容が公表されると、加藤先生もこれは何だと、何をやるとと、地域公共交通会議はいらないんじゃないかということになりかねません。

私は、まず、この各部局で1つを選ぶ場合に、運営会議が開かれていたり、市民の声が入っている事業について、とりあえずは市民の声が入っているわけですので、そういうものの届いていない事業などへ視点を持っていくべきかなと思います。が、いかがでしょうか。

●鹿島係長

佐野委員には、地域公共交通会議にも参加を頂いておまして、ごもっともなご意見でございます。

今回の評価シートを選ぶにあたって、先程申し上げました整合性がとれている事業、1,000万円以上の事業という場合に、企画部の場合は評価対象となる事業が、このコミュニティバス事業しかなかったということでございます。

事業内容については、各部局によってボリュームがかなり違っております。いくつもある事業から1つ選べるところもあれば、当部のように1つの事業しかないところもございます。

今回、各部局で整理をするにあたって、1つの基準としたものが、「予算の概要と整合性がとれている事業、1,000万円以上という事業で線を引いて、その中から選んでください」と、こちらから指示をしたということがございます。企画部につきましては、こちらのコミュニティバス事業を挙げたという次第です。

今後の選定方法につきましては、これが正しいと考えておりません。他自治体の外部評価の選定方法をみますと、外部評価者の方が、「この事業を今回は評価してみたい」というようなご意見を伺って、その中から選んだ事業を外部評価しているというところもあります。

今回は、一律的にラインを引いて、その対象となる事業の中から外部評価を受ける事業を各部局から選定したということがあります。佐野委員の言われることはごもっともで、私もコミュニティバスの事業に携わって、委員の皆様方から様々なご意見をいただいております。地域公共交通会議の中でいただくご意見と、また違った観点のご意見もいただけるのではないかと、といったことを少し期待していたところです。

地域公共交通会議では、委員の方のご意見を踏まえてダイヤ改正や運行について実施しておりますが、市民満足度調査の自由意見などで、本市の取り組みがまだ届いていないというところが見受けられます。また、コミュニティバスを利用していない方、あるいは利用しないと言っている方については、こちらの自由意見などで厳しいご意見をいただいております。そういったものを踏まえて、今回はコミュニティバス事業についても外部評価の対象とさせていただきました。

この点につきましては、佐野委員がおっしゃったように、市民の方が委員として参画いただいている事業については、今後の選定方法の中から除外する配慮をして改善に努めたいと思います。

#### ●佐野委員

もう1点、他の委員のことは分かりませんが、私に限って言わせていただければ、事前に書類をいただいているとはいえ、今後の予定が15分説明を受けて25分で質疑をして、5分で講評するというのは、これがどういう事業でどこに問題点があって、洗い出しをして講評をするか、ということはこの時間で行うというのは、私はとても難しいなと思っております。

例えば、1回目に説明をいただいて、そこで色々質問をさせていただく。そして、1週間後に2回目として、今度は委員同士の様々な意見を言い合いながら講評という少し時間をかけた丁寧な評価ということでないといけないと思います。私は、この出されている書類に対して、たったA4の用紙1枚で国語力が問われるのかというぐらいの書き方一つのことについてまで、あまりにも不誠実で無責任のような気がいたします。「とりあえずやりましたよ」というパフォーマンスではなく、どう

せやるのならば、そういう形できちんと評価とさせていただかないと、大変申し訳ないなという気がいたします。

●鹿島係長

今回の施策・事業評価シートの様式については、会長、牧野委員からもご意見をいただきました。

先程の牧野先生の講評の中でも、今年度を実施した外部評価の試行は30分で実施しましたが、事業によっては、説明や質疑の時間が短いとのご指摘をいただきました。

そこで、来年度は60分の設定をさせていただく予定にしているところです。事業内容の説明については、資料の事前配布とともに、質問票も配布させていただくことで、当日にはできる限り補足できるようにしてまいりたいと考えております。

●近藤委員

近藤です。

2点質問があります。

外部評価をする事業の選定ですが、事業として何百、何千とあるので、それを全て洗い出すことは大変だと思います。ある程度、企画政策課で線決めをしてピックアップをするのは分かるのですが、そのピックアップした事業を各部局が選定して6つ出すというのは、私が部局長なら差し障りの無い都合の良い事業だけを出すと思います。

それでは、おかしいと思うのです。

ですから、ライン引きした事業のリストを我々に提示していただいて、私たちが外部評価したい事業を選定して行うという方が、より実りのある評価になるのではないかと思います。

それともう1つ、外部評価導入についての資料4の説明で、外部評価導入の目的の部分「また、外部評価で得られた意見・提言等により、事業担当者の意識改革を促すとともに、他の施策・事業を自己評価する際の参考とする。そして、今後の施策・事業の方向性について検討し、予算編成や各種計画等への反映に努めるものとする。ただし、事業仕分けではないため、施策・事業自体の必要性は問わないこととする。」とあります。

施策・事業自体の必要性を問わないのに、どうやって今後の施策・事業の方向性について検討できるのか、また、外部評価の委員から率直な意見を求めるのに、どうしてこういった条件を付けるのか、私には不可解に思います。

もう1つの質問ですが、外部評価報告書の目標値についてです。

どうして、この目標値がこうなったのか、数字だけが書いてあってどうしてこの

数字にしたのかが書いてありません。これだけを見せられたら、例えば、放置自転車対策事業であれば「目標が500台、実績914台で目標達成したね、この事業は上手くいったね」となりますよね。

ですが、この目標の500台が本当に正しいかということが分からなければ、全く意味の無いものだと思いますので、その点についてどうでしょうか。

#### ●鹿島係長

まず1つ目の外部評価を行う事業を選定するために、企画政策課ではなく、外部評価者に選定していただくというお考えについてでございます。

先程、近藤委員が言われたとおり、事業リストのご提示をしてその中から選んでいただくという方法も考え方としてはあると思いますので、検討していきたいと思います。

次に、事業仕分けではないため事業・施策の必要性が問えない、という点でございます。

この事業仕分けにつきましては、民主党政権時代に、仕分ける側と事業担当者側と議員の方がいて、事業の必要性について公の場で判断を行ったというものです。今回、清須市の総合計画に登載された施策・事業について、どのように実施してどのように考えるかという点について内部評価をしました。内部評価の結果自体が、先程、近藤委員がおっしゃられたように、評価が甘くなっているのではないかとございまして。内部的に実施しているので、都合の良い指標だけを抽出して目的を達成したから事業成果であると、そういうことを戒めるために、そういう評価はおかしいのではないかと、ということかと思っております。行っている事業が正しい正しくないということではなくて、事業は総合計画に登載された事業であって、市として実施していく事業として位置付けたものでございまして。それについて、内部的に評価をしたものというものでございまして。

先程言われたように、「これっておかしいのではないかと」、というような声をその場で評価結果としてご発言いただくことによつて、直接、市民の方から評価についてのご意見を賜っているということとなります。そういった視点でないと、市民の方にしっかり説明ができないということで、事業担当者の意識改革を促すというようなところに繋がるのかなと考えております。我々としましても、事業を淡々とこなすということではなく、市民の方から「もっとこういう視点でみたら良いのではないかと」、というようなご意見を賜りたいと存じます。今後の事業を進めていく上での方向性を考えていきたいということが、この外部評価の導入の目的でもございまして。

目標値の設定や、どのように指標などを設定したかというところにつきましても、この外部評価シートの中では記載する欄がございません。このシートに指標、

目標等の設定の理由等についても述べるような形で様式を修正していきたいと思  
います。以上でございます。

●山田委員

話を聞いていると、内部評価シートを添削しろと言われてるように感じます。  
事業が確定していることなのに、施策・事業評価シートをきちんと書けないのはお  
かしいのではないですか。

内部評価シートを外部的に評価するということですか。事業の内容について、事  
業仕分けのように行うということではないのですか。

●鹿島係長

耳が痛いお言葉で、きちんと目標や概要が書けないというのは、我々職員も力不  
足で本当に申し訳ございません。

皆様方にやっていただきたい外部評価は、我々が自分たちで行っていく事業につ  
いて、どういう視点でどのような目標値としているかなどについて、市民感覚にあ  
った指標なのか、目標設定が正しいのかどうかを市民の皆さまに評価していただき  
たいと考えております。

我々が皆様方からいただいた意見により、その視点で物事を考えて事業を進めて  
いけないといけないなという気づきをすることが大切と考えております。現在行っ  
ている施策・事業について、改良や改善を加えていき、それを行政改革へ繋げて、  
事業の縮小や拡大、効率的に行う方法、廃止などを考える判断材料にしたいと考  
えております。そういった意味でも、我々が行っている事業についての考え方につ  
いて、市民の皆様の率直な意見をいただきたいということです。そのような市民の皆  
さまの視点をしっかり取り入れて、事業の方向性を定めていきたいと考えておりま  
す。

●堤委員

事業を続けるかどうか、といった内容に対しての評価ということですか。

●鹿島係長

事業を続けるかどうかということは、行政改革の視点になります。平成23年度  
に実施したことについて、「そのやり方は違っていたよね」と指摘していただき、  
改善に繋げていくことが外部評価ということです。

●葛谷次長

大まかに説明すると、施策・事業評価シートを使って事業の説明を行い、事業を理解していただきます。その上で、市民目線で気になる点などのご意見をいただき、その意見を基に次の事業で改善していくということです。

●山田委員

事業を集約した施策・事業評価シートの内容を理解し、それを理解した上で事業が効率的であったか非効率であったかといったことを言うだけですか。事業をこうした方が良いというような発言が必要となると、時間が足りないです。

ただ、添削するだけですか。

●加納副主幹

しっかりと事業が説明できているのかを評価していただくということが目的で、添削ではありません。

●山田委員

外部評価ではなくなってしまう気がします。根っこまでみていないので、外部評価という表現はどうかと思います。

●加納副主幹

外部評価と聞くと、事業仕分けを思い描くと思います。

今回の外部評価について、例えば、放置自転車の事業で言いますと、必要性の理由に「法律第5条による」とありますが、市民の方からすれば分からないと思います。

本市の場合は、事業自体の必要性を問うものではなく、事業担当課が自己評価した内容を市民の皆さんに対して理解できるものであるのか、しっかりと説明できているかを評価していただくものであると考えております。

「外部評価」という表現が不適切ということであれば、表現を改めたいと思います。

●近藤委員

事業の内部評価に対する外部評価として欲しいです。

●山田委員

外部評価の活用結果を「今後の施策・事業の方向性について検討し、予算や各種計画等へ反映に努める」とあります。事業自体の検討を行っているわけではないの

で、今後の方向性には影響しないのではないかと考えますが、いかがですか。

●鹿島係長

外部評価の実施によって、いただいたご意見から事業担当者に何らかの気づきを与えていただくことにより、予算編成や事業計画に反映させていただくことができると考えております。

●堤委員

今までの積み上げをどのように評価するのか、といった評価も必要と思います。

●山田委員

行政改革委員会としての評価ということであれば、60分という短い時間の中でコメントすることは難しいと思います。評価の終了後に、再度、行政改革委員会としての意見ということでまとめるための場が別途必要であると思いますが、いかがでしょうか。

●葛谷次長

行政改革委員会として、意見をまとめていただく必要は無いと考えております。個人のご意見として、評価をいただきたいと思います。

これまで、本市の行政改革の推進に関して、高い識見を持った立場から様々なご意見をいただいていること、一方で、市民委員として、市民からの立場でもご意見を言っただけなことから、皆さまが適任であると考えているため、お願いするものです。

評価のコメントは、一旦、施策・事業評価結果シートをお持ち帰りいただき、1週間を目途にご提出いただければと思います。

●牧野委員

評価をその日に行うことはできないと思います。みんなで話し合いをして統一的な見解にするべきだと思います。

●葛谷次長

コメントは、記載の上、後日ご提出いただければと考えております。

●佐野委員

当初、行政改革委員には5人の学識経験者がおられました。

私たちは、市民委員です。市民委員と事務局で、清須市の行政改革を行うという

ことはどうかと思います。

●葛谷次長

来年度に向けて、検討していきたいと思います。

●原田委員

今回、市民満足度調査の資料をいただいて、とても参考となりました。早速、この会議前にグループで話し合いをさせていただきました。

専門分野については理解ができるのですが、専門外の分野になると分からない部分も多いし、施策・事業評価シートになると絞られていて、それについていい加減に答えることはできないところです。

ですので、話し合う場や時間が欲しいと思います。佐野委員は、事前にしっかり調べられていたりして、私ももっと頑張らなければと思いました。

●葛谷次長

市民満足度調査は、中間報告の時に概ね説明をさせていただきました。

P D C Aサイクルを活用し、事業内容や予算要求に反映させていただきます。

大切なことは、皆さんからのご意見をいただくことと考えております。様々なご意見をいただきながら、必要に応じて見直しを行ってまいりたいと考えております。

●牧野委員

市民満足度調査にはお金をかけているので、しっかりと有効活用していただきたいと思います。

生涯学習課に、生涯学習講座のニーズをどのように把握しているのかを聞いた時に、市民満足度調査にどのような意見があったのかを聞いたら、「覚えていない」と答えていました。

市民の声を集めてもそれをしっかりと有効活用をしなくては、意味が無くなってしまいます。

●佐野委員

アンケートを集計するなど、大変な作業だったと思います。

そして、何より大切なことは、回答してくださった方が6割いてくれたことで、とてもありがたいことと思います。

●原田委員

事前にグループで話し合いをしたのですが、子育てや男女共同参画などに取り組んでおりますので、その部分を確認しました。

男女共同参画について、清須市の方の意識は低いです。アンケートでは重要という人が多いのに、清須市が男女共同参画についてどういう取り組みをしているのか分からない人が多い結果でした。

前にも言いましたが、満足度について「どちらでもない」という意見が73%もあることを放置しているというのは、ものすごく問題だと思うのです。それでも重要だと思うという人がかなりいたのです。

子育ては未来に繋がることですので、市民満足度調査の意見を参考にして、どうしたら良いかなどをもう少し詰めていきたいと思います。

●福田会長

2つの議題が出されておりましたけど、おそらく議題1でほとんど時間を取るだろうと思っていました。

そうすると、「市民満足度調査は、よく読んでおいてください」で終わってしまうなといったことは、やっぱりもったいないことです。

議題2については、今後どのように進めるかといったことを事務局と検討いたします。宜しくお願いいたします。

●葛谷次長

市民満足度調査については、結果を各部局に配布しております。内容を精査するように、もう一度通達をしていきたいと思います。

●福田会長

これからも行政改革委員会が、このように皆さんのご意見を頂戴できる委員会として進めていければと考えております。

本日は、ありがとうございました。

3 閉会

( 午後0時2分 閉会 )

問い合わせ先

企画部企画政策課 岡田

052-400-2911 内線4015

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 福田 清彦

委 員 近藤 芳行

委 員 建部 憲子